

## 日本の航空産業の発展に貢献したい

### MRJ用PW1200Gエンジン組立・試験プロジェクト



三菱重工航空エンジン(株)  
(MHIAEL)  
製造部 組立・整備課  
技術・管理チーム  
主任チーム統括

**栗原 啓さん**

2004年、名古屋誘導推進システム製作所へ入社。民間航空用エンジン、防衛省向け航空用エンジンの製造、メンテナンスに関わる品質保証業務に携わる。今年4月より、生産技術、生産管理関係の業務を担当。チーム統括として、プロジェクトの取りまとめをしている。

#### 生産ラインの信頼性と効率性を追求

私たちは、MRJ用PW1200Gエンジンの組立の量産に向けて、組立技術や性能を確認する試験方法の確立、形態管理、スケジュール管理、効率的な工法の構築などに取り組んでいます。組立ラインの準備は完了し、2016年には組立がスタートする予定で、その後も、飽くなき改善を続け、生産エリアを進化させていきたいと考えています。



#### MRJ用PW1200Gエンジンができるまで

2010年～2015年8月  
生産準備

生産エリアの整備、治具の選定、テストセルの準備などを進めます。

2015年8月～  
モジュールの組立

エンジンを構成するそれぞれのモジュールを組み立てます。

2016年～  
エンジンの組立

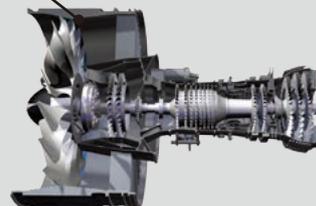
MHIAELが最終組立を担当する初号機の組立を開始、試験を行います。

量産を開始

量産組立を開始、テストセルでエンジン試験を行い、出荷します。



現場とのコミュニケーションが大事!!



© 2015 United Technologies Corporation

—栗原さんはプロジェクトの中で、どのような役割を担当していますか？

組立・整備課では航空エンジンの生産計画と生産技術、組立・整備を行っていますが、技術・管理チームでは、形態管理の手法を構築したり、組立、試験の手順の作成、組立に必要な治具やテストセルの改善などをしています。また、短期間、低コストで良いものづくりができる現場構築の取り組みを推進しています。私はリーダーとして、全体の取りまとめを担当しています。

—仕事をやる上で心掛けていることは何ですか？

現場とのコミュニケーションを重視しています。リーダーとして課題をタイムリーに把握し、迅速に解決するためです。また、みんなが一人のエンジニアとして仕事を楽しみ、日本の航空産業を牽引していくモ

チベーションを維持できるように、協力メーカーとの情報共有会、有識者との交流会などの機会を設けています。

—仕事で大変なことは何ですか？

飛行安全については、いつも良い意味でのプレッシャーを感じています。安全のために何がベストなのか、常に悩んでいます。これは航空産業に携わる者として最も大切なことだと思います。

—今後の目標を教えてください。

初号機を確実に納入し、量産に向けて着実に準備を進めたいと考えています。日本初、世界では6番目の民間航空機エンジンの生産拠点として、そのタイトルにふさわしい環境づくりを進めるとともに、メーカーの担当者として日本の航空行政にも意見を出しながら、航空産業の発展に貢献したいと考えています。

栗原さんは **こんな人!**

ポジティブで明るい  
ムードメーカー

●栗原さんの先輩

製造部  
組立・整備課  
上席係長  
敦賀 敏昭さん



エンジンについて語るときの栗原さんは、目がきらきらしていて、この仕事に本当にやりがいを感じていることが分かります。常にポジティブで、難題があっても「こうすればできる!」とアイデアを示しながら、チームを引っばってってくれる有望なリーダーです。